

## シミュレーション Case01 東大志望のA君の場合

### 【プロフィール】

- ・私立中高一貫高校に通う。志望は東京大学理科一類。
- ・大手予備校では、英語・数学・物理・化学を受講中。
- ・得意科目の数学では、80点/120点の高得点が目標。
- ・入試標準レベルの問題については、ある程度解ける自信はある。しかし、難問となるとまだまだ手が出ず、予備校の講義ではなかなか解決策を見い出せずにいる。

数学を得意としている人でも、基礎的な部分に落とし穴があったり、伸びしろの望めない勉強法をしていて、難関大入試レベルでは苦戦をしてしまうこともあります。数特塾ではカウンセリングを通して、**本当に必要な勉強計画を提示**します。

### 【カウンセリング】

模試結果は優秀でしたが、返却された答案を見ると、整数や確率の基本的な問題にミスがあるなど、**単元ごとにはその定着度にムラ**がありました。また通過領域の問題の記述答案では、**論理性に欠ける部分が見受けられました**。その結果を受けて、高2の1月・2月中は、「弱点箇所の洗い出し」を目標として、数学ⅠAⅡB範囲の総点検を行い、高3の授業への準備を行うことにしました。高3からは、東大受験を見据えて、入試必須の手法を確認しながら、夏期までに定着をさせる計画としました。9月以降はアウトプットを増やし、実践的な記述式答案の書き方について学びつつ、難問をどのように解きほぐし、正解へと至る道を見つけるかのアプローチ方法を身につけます。12月までに、数学については目途が立つようなスケジュール設定となっています。

### 【実行結果】

7月までは順調にカリキュラムをこなしていたA君ですが、夏に受けた複数の大学別模試では、確率の問題を解くことができず、自信を落としていました。そこで、夏期に計画していた分に加えて「確率特講」を2回追加し、**夏期後半は徹底して弱点である確率の克服に専念**しました。夏までに入試の基礎をしっかりと固めた結果、実戦テストでは順調に力をつけていくことができました。12月以降は、数特塾での学習を軸として進め、見通しの立ち始めた数学の勉強量自体は増やさず、**残りの時間はまだ完成していない理科に充てる**ことが可能になりました。苦手なタイプの出題がある場合は、課題を多く提示してもらい、その都度克服していきました。直前期で東大数学対策を万全にし、本番では目標の80点を超えて、見事理科一類に合格できました。

必ずしも計画通り勉強が進むとは限りません。数特塾では、**臨機応変にカリキュラムを修正し、今すべき学習をタイムラグなくこなせるように提供**をします。また、**他科目を含めた受験勉強全体の進行も考慮**して、スケジュールを作成します。

## 年間スケジュール

月	週	テーマ	レベル・形式	
春期	1	整数①	入試基礎演習	
	2	整数②		
4月	1	関数と方程式①		
	2	関数と方程式②		
	3	関数と方程式③		
	4	関数と方程式④		
5月	1	微積分(数Ⅲ)①		
	2	微積分(数Ⅲ)②		
	3	微積分(数Ⅲ)③		
	4	微積分(数Ⅲ)④		
6月	1	ベクトル①		
	2	ベクトル②		
	3	立体図形①		
	4	立体図形②		
7月	1	数学Ⅲ演習①		入試実戦テスト
	2	数学Ⅲ演習②		
夏期	1	数列①		
	2	数列②		
	3	確率①		
	4	確率②		
	5	極限(数Ⅲ)①		
	6	極限(数Ⅲ)②		
	7	複素数平面(数Ⅲ)①		
	8	複素数平面(数Ⅲ)②		
9月	1	数学ⅠAⅡB演習		
	2	数学Ⅲ演習		
	3	数学ⅠAⅡBⅢ演習		
	4	数学ⅠAⅡBⅢ演習		
10月	1	数学ⅠAⅡB演習		
	2	数学Ⅲ演習		
	3	数学ⅠAⅡBⅢ演習		
	4	数学ⅠAⅡBⅢ演習		
11月	1	数学ⅠAⅡB演習		
	2	数学Ⅲ演習		
	3	数学ⅠAⅡBⅢ演習		
	4	数学ⅠAⅡBⅢ演習		
12月	1	数学ⅠAⅡBⅢ演習		
	2	数学ⅠAⅡBⅢ演習		
	3	数学ⅠAⅡBⅢ演習		
	4	数学ⅠAⅡBⅢ演習		
冬期	1	センター数学ⅠA演習	志望校別対策	
	2	センター数学ⅡB演習		
	3	センター数学ⅠA演習		
	4	センター数学ⅡB演習		
	5	慶応大理工対策		
	6	早稲田大理工対策		
直前期	1	東大理科対策1		
	2	東大理科対策2		
	3	東大理科対策3		
	4	東大理科対策4		
	5	東大理科対策1		
	6	東大理科対策2		
	7	東大理科対策3		
	8	東大理科対策4		

### 【春期～夏期】

東大入試数学を突破する上で不可欠な考え方や解法が定着するレベルまで引き上げます。この段階での学習に穴があっては、東大合格はクリアできません。9月以降の実戦テストに臨めるように、**夏期までの時間を利用して、盤石の態勢を整えます**。

各回、テーマに応じた演習用プリントを事前に解き、現状の実力に合わせて授業を行います。定着のための復習として、参考書もしくは問題集の指定箇所を課題として提示します。

### 【9月～冬期】

毎回、自宅や教室で制限時間内にテスト問題を事前に解いてから、授業に臨んでもらいます。**未知の問いに対して、どう考えて取り組んだのかを議論**しながら進めていきます。

また、記述式答案を添削し、東大受験に必須である簡潔に過不足なく自分の考えを表現する力を身につけていきます。

### 【冬期～直前期】

総合演習に加えて、センター試験直前期では、**確実に高得点を取るべく対策**を行い、万全を期します。

直前期では、**受験校にあわせて、過去問等**を用いて大学別の対策を行います。